

「私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる。」と書いてあるとおりです。」ローマ 1 : 16、17 15日 又も北朝鮮が弾道ミサイルを発射したと言うニュースが入り、北海道等でJアラートが鳴りTVではそのニュースで持ちきりです。洪水、テロ等、また身边にも様々な問題が許され、人の心は不安に満ち、どうしてよいのか道を探し救われてくる人が増してきます。患難時代にはまだ入っていませんが、確実に迫っている中で、天国に国籍を持ち、永遠のいのちと平安と喜びを持っていると言うことは何と素晴らしいことでしょうか。

マタイ 19 : 16~に金持ちの青年がイエス様のところに来て「永遠の命を得る為にどんな良いことをしたら良いのでしょうか？」と尋ねました。「持ち物を売り払って貧しい人達に与えなさい。」とイエス様に言われた時、彼は金持ちだったのでそれができなかったのです。「金持ちが天の御国に入るよりは、らくだが針の穴を通るほうがもっとやさしい。」つまり不可能だと言われたのです。また律法学者がイエス様に一番大切なものは何ですか？と聞いた時、「神を愛し人を愛しなさい。」と言われ、その通りですと答えた時「あなたは神の国から遠くはない」と言われましたが、彼は神の国に入っていたのではなく、遠くはないといわれたのです。彼らは律法を守ることで神の国に入ろうとしましたが、誰も律法を守ることで神の国に入ることは出来ません。だからこそイエス様が救い主としてこの世に来られ、私たちの罪を贖ってくださいました。律法を行うことではなく、ただイエス様を信じて救われ始めて神の国に入ることが出来ます。上の言葉のように「義人は信仰によって生きる。」からです。福音を「信じる」これは聖書においてもっとも大切なポイントです。また信じるということにはもう一つの面があります。それは神は私たちに最高のことを成してくださるということを信じるということです。今回のウクライナ・スロバキヤ派遣も、始めはサーバー攻撃にあたり、危険を感じて行かない方が良くかとも思ったほどだったそうですが、神のことは「行きなさい。あなたの方に危害を加えるものはだれもありません。」で、聞き従った時に宣教の実を大きく結びました。私たちにも様々な問題、困難が許されますが、その時みことばを求め、聞き従ってゆきましょう。神は必ずみことばを通して道を教え、解決と最高の恵みと祝福を与えてくださいます。

TLCCC FRH 主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師: イエス・キリスト ノア勝裕 & 和子



Siloam

2017年9月17日 No.963

(シロアム: 遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

新年度の御言葉

「それと同じように、信仰も、もし行いがなかったなら、それだけでは、死んだものです。」ヤコブ 2 : 17

♪ God is working <for my good ,> ×2

God is working for my good, Yes ,He really is!! ♪



宣教で用いられた着物

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>